

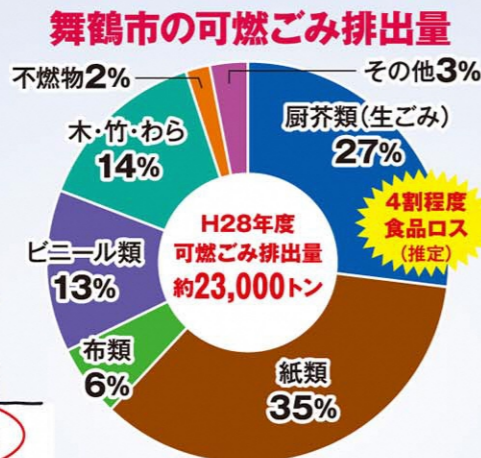
# 食品ごみ (食品ロス)

日本で1年間に発生する食品ロスは  
**約621万トン!**  
国民1人1日当たりで換算すると  
**約134g!!**

※お茶碗一杯分の量に相当



食品ロスとは まだ食べられるのに捨てられる食べ物のこと



今回は審議会で議論した内容から家庭で出来る取り組みを紹介するよ



**舞鶴市の食品ロス(推定)**  
約2,000トン  
～約2,800トン

年間の不燃ごみの量と同じくらいの食べ物が捨てられている計算に!!

## 家庭で出来る取り組み(3キリの徹底!!)

**食べキリ** 食べ物をムダにしない

**使いキリ** 買い物前に冷蔵庫をチェックし、余分に買わずにしよう! 残さず食べることも大切だね!

**水キリ** 生ごみの減量とイヤな臭いも抑えられるよ

できる限りぬらさずに! ぬれたごみはひと絞り!

**コンポスト等も有効な手段!!**

生ごみを堆肥化することでごみの減量につながるね。

## 指定ごみ袋収入の使いみち

平成28年度のごみ袋の収入は約1億7千万円。この収入はごみ減量化のため、さまざまな事業に使われています。

【平成28年度の収入額】 平成28年4月～平成29年3月

指定袋	容量	収入額(円)	
		販売枚数(枚)	収入額(円)
家庭用	10リットル	405,740	3,245,920
	20リットル	691,920	11,762,640
	30リットル	1,082,970	28,157,220
	45リットル	1,424,050	56,962,000
	90リットル	85,500	6,754,500
小計		3,690,180	106,882,280
事業用	45リットル	580,550	23,222,000
	70リットル	317,200	19,666,400
	90リットル	246,950	19,509,050
小計		1,144,700	62,397,450
合計		4,834,880	169,279,730

- 不法投棄対策パトロール
  - 啓発看板の作成
  - 生ごみ処理機の購入補助
  - ごみ分別ルールブックの作成
  - ボランティア袋の作成や回収
- など、ごみ減量の啓発や不法投棄対策などに使われています。



## 【平成28年度のごみ袋収入の使いみち(内訳)】

指定ごみ袋等に係る経費  
70,048,563円(41%)

その他の経費  
19,703,091円(12%)

清掃事務所管理経費  
79,528,076円(47%)



- 家庭や事業所で使われている指定ごみ袋の作成費用
  - 指定ごみ袋の運搬、保管費用
  - 販売店への手数料
- など、指定ごみ袋に関しての費用として使われています。

年間に必要な清掃事務所の維持管理費用の36%が有料化の収入でまかなわれています。

# 舞鶴市ごみNEWS

## —ごみの減量とリサイクルのお知らせ—

【平成30年3月発行】  
舞鶴市市民文化環境部  
環境対策室生活環境課  
電話 0773-66-1005  
FAX 0773-62-9891

- 平成31年度以降に不燃ごみの分別区分を見直します
- 平成30年夏ごろから一部地域をモデル地区として試験的に実施します

皆様のご理解とご協力をお願いします



舞鶴市では、舞鶴市廃棄物減量等推進審議会からの中間答申を踏まえ、ごみの減量とリサイクルに向けた取り組みの一環として、不燃ごみの新たな分別区分の見直しを検討しています。平成30年度から予定しているモデル事業の対象地区や実施の時期、細かいルールなどは決まり次第お知らせします。

※見直しの経過等は次のページをご覧ください。

## 見直し予定の内容

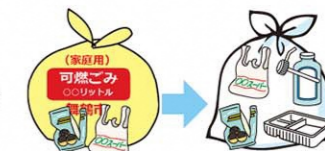
### ① ペットボトルを単独分別収集

プラスチック容器類として一緒に袋に出しているものを「ペットボトル」と「プラスチック容器包装類」の分別区分に変更。また「ペットボトル」は、キャップだけでなくラベルもはがして出すように変更します。



### ② プラスチック製包装類を不燃ごみで分別収集

可燃ごみとして出しているレジ袋やお菓子袋などのプラスチック製包装類を不燃ごみの「プラスチック容器包装類」に変更しリサイクルします。



## 現在の分別区分



## 変更イメージ



※ペットボトルのラベルは、はがしてキャップと一緒にプラスチック容器包装類に出してください。  
※汚れがあるものは、軽くすすぎ洗いをするなどして汚れを取り除いてください。